

芝生で遊ぼう ～五明幼稚園～

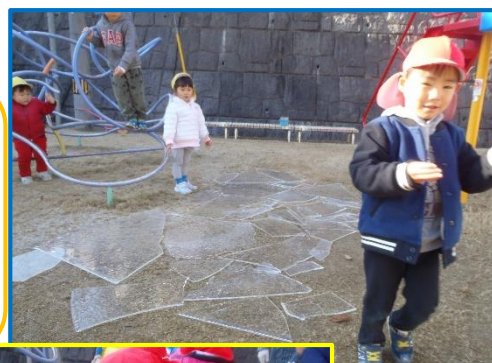
季節の移り変わりをを感じる芝生 (12月)



12月に入り、一気に茶色になった芝生。その様子を心配そうに見つめる子どもたちです。また、この時期になると、影が長くなっていることに気づき、遊びに取り入れる様子も見られます。遊びの中で子どもたちは、季節の移り変わりを体験から感じ取っています。



気温が下がり、プールには毎日のように氷が張っています。その氷を芝生の上に並べ、スケート場を作る子どもたち。足で踏んでバリバリと割れる感覚を楽しみました。いろいろな形の氷、日や場所によって違う氷の厚さなど、自然現象との触れ合いの中では様々な気づきが生まれ、子どもたちの考える力を高める貴重な体験になっています。



寒さに負けず、子どもたちは芝生の上で伸び伸びと体を動かして遊んでいます。日々変化していく芝生の様子を見的过程中で子どもたちは、季節の移り変わりを感ずるとともに、「大丈夫かな?」「枯れちゃったのかな?」とより一層愛着を感じている様子でした。その気持ちは、人を思いやる気持ち、ものを大切にしようとする気持ちにもつながっていくのではないのでしょうか。心を育てる芝生があるという環境を、教師自身大切にしていきたいと思ひます。